

みやざきの食産業 ～その承継と未来～

2024.5.26 (日) 15:00～17:00

MUKASA
HUB



MOC理事
一平ホールディングス
村岡 浩司



MOC理事
AGRIST
齋藤 潤一



ZEROCO
楠本 修二郎



宮崎市農政企画
増元 幹治



器
西立野 玲



MOMIKI
初木真一郎



宮崎市
永山 英也



MOC創発本部
杉田 剛

開催趣旨

平成26年に設立された「一般社団法人みやPEC推進機構(以下、みやPECと略します)」は、これまで宮崎の豊かな農林水産物を活かし、たくさんの事業者や生産者の皆様と、新商品の開発や販路拡大に取り組んできました。

令和6年度より「みやPEC」は、その機能の一部を「宮崎オープンシティ推進協議会(略称:MOC)」が引き継ぎ、今後も宮崎の食産業・農業の革新と発展の一翼を担います。このタイミングで、「みやPEC」と共に汗をかいて頂いた方々を迎え、改めて宮崎の中核産業である「農」と「食」の未来を語り、次のフェーズを担うMOCの活動へと繋げたいと考えています。

Session1 : みやPECの軌跡

10年間活動してきたみやPEC。その歴史の中で紡いできた生産者さん、販路先との関係性や商品作りなどの歴史について紐解きます。どういう背景でどんなイベントを実施してきたのか、当初の目標は達成できたのか、または実践していく中で見えてきた課題は何か、MOCへ引き継ぐにあたりどんなことを期待しているのか、などを根掘り葉掘り伺います。

Session2 : MOCへの承継、そして未来構想

Session1で共有したみやPECが築いてきたアセットや関係性を活かしながら、その一部を引き継ぐ宮崎オープンシティ推進協議会(MOC)ではどういった展開が可能になるのか、オープンイノベーションでどんな世界が広がるのか、その可能性を探ります。ゲストスピーカーとして、東京より、低温・高湿の保管環境を実現することで、食材や食品の鮮度を長期間、高品質に保つことを世界で初めて可能にした、冷蔵庫、冷凍庫に次ぐ第三の鮮度保持技術「ZEROCO(ゼロコ)」の事業を始動したZEROCO株式会社楠本社長をお迎えし、その技術の宮崎での展開可能性や、県内外の企業間連携での販路開拓や商品開発の新しい方向性を探ります。

宮崎オープンシティ推進協議会(通称MOC)

Mail : info@moc.ne.jp

お申し込みは
こちらから



タイムテーブル

- 14:30 開場
- 15:00 開始・挨拶(イベント概要説明)
- 15:05 MOC米良理事長 宮崎市清山市長・挨拶

第1部;パネルディスカッション「みやPEC総括」

- 15:15 増元宮崎市農政企画課長:みやPEC事業振り返り
- 15:25 西立野社長、柁木社長による事例発表
- 15:40 パネルディスカッション「総括と課題、今後」
 - ・モデレーター:MOC杉田創発本部長
 - ・民間:(株)器 西立野社長、(株)MOMIKI 柁木社長
 - ・行政:宮崎市 永山副市長
- 15:55 質疑応答

第2部:パネルディスカッション「未来展望・MOC」

- 16:00 趣旨説明、自己紹介等
- 16:05 MOC紹介 / ZEROCO事業紹介
- 16:20 パネルディスカッション「MOCの可能性と未来展望」
 - ・モデレーター:MOC 村岡理事
 - ・民間:ZEROCO楠本社長
 - ・MOC:齋藤理事、杉田創発本部長
- 16:45 質疑応答
- 16:50 総括
- 17:00 懇親会(~18:00)
- 会費:1,000円(会場にて承ります)

登壇者紹介



楠本 修二郎(くすもとしゅうじろう)

カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長
ZEROCO株式会社 代表取締役社長
一般社団法人おいしい未来研究所 代表理事



西立野 玲(にしたの あきら)

株式会社 器
代表取締役

リクルートコスモス、大前研一事務所を経て、2001年カフェ・カンパニーを設立。「コミュニティの創造」をテーマに約90店舗の企画・運営や地域活性化事業、商業施設プロデュース等を手掛ける。2023年、食産業の発展を支える基盤づくりと世界の課題解決の貢献を目指すZEROCO株式会社を設立。その他、内閣府、経済産業省、農林水産省等の政府委員、(一社)東の食の会 代表理事、(一社)おいしい未来研究所 代表理事等も歴任。

地元食文化の継承と発展のため、2011年2月創業。地元宮崎で漁獲される鱧やチョウザメ、シイラなどを使用し、レトルトや缶詰商品を製造している。2014年から産学官連携の取り組みとして、みやPEC推進機構および宮崎県漁業協同組合連合会監修のもと宮崎県海洋高校と災害用備蓄缶の商品開発を開始。昨今の災害に備えるための備蓄缶を各企業で保管。有事にその備蓄缶を支援物資として被災地に送る備蓄缶プロジェクトの取り組みを行っている。



柁木 真一郎(もみき しんいちろう)

株式会社 MOMIKI
代表取締役

株式会社MOMIKIは元々地元で木工用刃物の研磨を中心とした柁木研磨工業を設立したのが始まり。取引企業の紹介により、工場の空きスペースで黒にんにく製造をメインとした食品製造業を開始。黒にんにくを使用したドレッシングやたれなど加工品など幅広く商品展開している。黒にんにくのたれを使用した唐揚げはイベント等で大変好評を博している。昨年は自社の商品が宮崎市認定商品事業の商品に採択。新たな販路拡大に取り組んでいる。



増元 幹治(ますもと みきはる)

宮崎市農政企画課
課長

昭和48年、清武町の農家に生まれる。平成8年、宮崎市役所に入庁。平成17年から2年間、農林水産省に派遣されたことを契機として、農政の専門職となるため、平成22年に市のスペシャリスト育成制度(農林水産分野)に申請。平成26年、農商工連携室において、一般社団法人みやPEC推進機構の設立事務を担当。宮崎市が、市町村別農業産出額で全国第1位になることを密かに夢見ている。



村岡浩司(むらおか こうじ)

株式会社一平ホールディングス 代表取締役
宮崎オープンシティ推進協議会理事

宮崎市高岡町で廃校となった小学校をリノベーションし、カフェ(ムカサコーヒー)やシェアオフィス・コワーキングを併設するMUKASA-HUBを運営。また、自治体の壁をこえた広域なリジョン経済圏で繋がる「ONE KYUSHU」という標語を掲げ、「世界があこがれる九州をつくる」を経営理念として、九州産の農業素材で作られた「九州バンクーキックス」をはじめとするローカルプロダクトの商品開発の他、カフェ・飲食店を国内外に展開。地元活性化やコミュニティ創生にも取り組んでいる。



齋藤 潤一(さいとう じゅんいち)

一般財団法人こゆ地域づくり推進機構 代表理事
AGRIST株式会社 代表取締役CEO
宮崎オープンシティ推進協議会理事

米国シリコンバレー音楽配信会社でクリエイティブ・ディレクターとして従事。帰国後、震災を機に「ビジネスで地域課題を解決する」事を使命にNPO設立。全国10箇所以上の地方創生プロジェクトで多数の成功事例。2017年4月に宮崎県新富町の地域商社こゆ財団代表理事に招聘され、国の地方創生の優良事例に選出され首相官邸で事例発表。農業課題を解決するためAGRIST株式会社設立。国内約20のアワードを受賞。



永山 英也(ながやま ひでなり)

宮崎市副市長
宮崎オープンシティ推進協議会 顧問

延岡市出身。九州大学法学部卒業。1981(昭和56)年宮崎県庁入庁。2016(平成28)年総合政策部長を務め2017(平成29)年3月に宮崎県庁を退職。2020(令和2)年宮崎県庁での多様な経験とネットワークを活かして、宮崎大学産学・地域連携センター特別教授を務める。2023(令和5)年1月に宮崎市副市長就任。市が推進する組織改革や公民連携を中心に、子育て世代や若者が心地良く過ごせる宮崎市を目指し取り組んでいる。



杉田 剛(すぎた こう)

クロスコー代表
宮崎オープンシティ推進協議会 創発本部長

1975年宮崎市生まれ。NTT東日本へ入社し主に法人営業を担当。2007年宮崎商工会議所入所。商店街・観光、スタートアップ支援を行う。2019年より01Boosterへ転職し大手企業とスタートアップの連携事業等従事。地域や企業の課題を多様な主体が連携することで解決を目指す。2021年独立し引き続き同業務を行う。2024年MOC創発本部長就任。中小企業診断士(平成20年登録)。

宮崎オープンシティ推進協議会(通称MOC)

Mail : info@moc.ne.jp

開催会場:MUKASA HUB
場所はこちら→

